



2024 会 告 No.3

◇通知・案内事項

○化学工学会第89年会 概要..... 本号4ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2024)	(2025)
◇年会	3/18～20(大阪公立大学)	
◇秋季大会	9/11～13(北海道大学)	
◇支部大会		
◇学生発表会		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2024年3月 March			
1	第24回プラント保全研究会(広島県)		2号9
2	第26回化学工学会学生発表会(オンライン)		1号6
4～5	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(東京都)		12号7
7	「プロセス産業におけるサイバーセキュリティ：リスクに基づくアプローチ」発刊記念講演会(オンライン)	2月26日(月)	本号9
11	神奈川県見学講演会「近づきつつある水素社会の展望と水素の大量輸送貯蔵技術」(神奈川県)		2号8
15	バイオプロセス講演会「生物機能を利用したモノづくりに貢献するプロセス強化」(オンライン)	3月8日(金)	本号10
17	第26回反好会(反応工学部会若手会)講演会(大阪府)	3月10日(日)	本号9
18～20	化学工学会第89年会(大阪府)	3月20日(水) 12:00	本号4
2024年4月 April			
18～19	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)	4月11日(木)	2号8
23～25	オンライン版「化学プラントの装置材料技術」講座(オンライン)	4月16日(火)	1号6
2024年6月 June			
29	第61回化学関連支部合同九州大会(福岡県)	4月12日(金)	本号10

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2023年度化学人材育成プログラム(東京都 他)	2023年4月1日～ 2024年3月31日 (土～日)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html
材料技術研究協会 第5回WEBセミナー 「X線の基礎とX線を用いた材料技術研究の最前線」 (オンライン)	3月1日(金)	材料技術研究協会	0266-73-9834 (0266-73-1230) utsumi@rs.sus.ac.jp https://www.jrimt.jp/Seminar/Seminar.html

種子島シンポジウム2024(鹿児島県)	3月2日(土)	西之表市・中種子町	0997-22-1117 (0997-24-3111) shoukou@city.nishinoomote.lg.jp http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/soshiki/keizaikankoka/shoukouseisaku/ecoiland/symposium/symposium/index.html
ISPlasma2024/IC-PLANTS2024/APSPT-13(愛知県)	3月3～7日 (日～木)	公益社団法人 応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2024_apspt-13@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
第5回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム(オンライン)	3月4日(月)	日本工学会	03-6265-0672 (03-6265-0673) eng@jfes.or.jp https://www.jfes.or.jp/
生産システム部門研究発表講演会2024(岡山県)	3月4～5日 (月～火)	一般社団法人日本機械学会 生産システム部門	03-4335-7615 hashiguchi@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/24-5/
KISTEC教育講座 「社会実装を目指すマイクロ流体デバイス」(神奈川県)	3月5日(火)	(地独) 神奈川県立産業技術総合研究所	044-819-2033 (044-819-2097) manabi@kistec.jp https://www.kistec.jp/learn/microtas/
第62回設備管理全国大会(東京都)	3月7～8日(木～金)	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会	03-6865-6081 (03-6865-6082) event@jipm.or.jp https://info-jipm.jp/event/management/
23-1 高分子と水・分離に関する研究会 2023年度界面動電現象研究会(茨城県/オンライン)	3月11日(月)	高分子学会 高分子と水・分離に関する研究会 界面動電現象研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) y-tanaka@spsj.or.jp https://www.eng.bres.tsukuba.ac.jp/colloid/research-unit/files/interfacial-electrokinetics23
第38回エレクトロニクス実装学会春季講演大会(千葉県)	3月13～15日 (水～金)	一般社団法人エレクトロニクス実装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) info@jiep.or.jp https://jiep.or.jp/event/convention/jiep2024s/index.php
第15回日本複合材料会議(JCCM-15)(京都府)	3月13～15(水～金)	日本材料学会, 日本複合材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://compo.jsms.jp/conference/jccm15/
コロイド先端技術講座2023 柔らかい多孔性材料ーその構造と機能をさぐるー(東京都)	3月14日(木)	日本化学会コロイドおよび界面化学部会	03-3292-6163 jigyokukaku_02@colloid.csj.jp https://colloid.csj.jp/202312/2023hitech/
表面科学セミナー2024(実践編) 基礎と実用例を通じてこれから学ぶインフォマティクス(東京都)	3月14日(木)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/jpn/activities/06/detail.php?cid=00017
周南コンビナート脱炭素推進協議会主催シンポジウム 周南から発信する未来のカーボンニュートラル社会(山口県)	3月16日(土)	周南コンビナート脱炭素推進協議会	0834-22-8837 (0834-22-8357) scej.cn2050@scej.org https://www.city.shunan.lg.jp/site/complex-decarbonization/
第73回プラスチックフィルム研究会講座(東京都)	3月18日(月)	高分子学会 プラスチックフィルム研究会	03-5540-3770 (03-5540-3737) resg2@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/

腐食防食部門委員会 第353回例会(大阪府)	3月18日(月)	公益社団法人 日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimmu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
第133回触媒討論会特別シンポジウム(神奈川県)	3月19日(火)	触媒学会	03-3291-8224 secretariat@catsj.jp https://catsj.jp/event/15978
第41回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(東京都)	4月16~17日 (火~水)	公益社団法人日本空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp https://www.jaca-1963.or.jp
2024 International Conference on Electronics Packaging (ICEP2024)(富山県)	4月17~20日 (水~土)	一般社団法人エレクトロニクス実装学会	03-5310-2010 icep2024@jiep.or.jp https://www.jiep.or.jp/icep/index.html
酵素工学会第91回講演会(京都府)	4月26日(金)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme.engjsee@gmail.com https://www.jsee91.enzyme-eng.com
第19回数値燃焼国際会議(International Conference on Numerical Combustion)(京都府)	5月7~10日 (火~金)	日本燃焼学会	092-583-7674 icnc2024@combustionsociety.jp https://www.combustionsociety.jp/nc24/
第9回マルチスケール材料力学シンポジウム(長崎県)	5月24日(金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimmu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
第24回マリンバイオテクノロジー学会大会(茨城県)	5月25~26日 (土~日)	マリンバイオテクノロジー学会	03-6205-5601 (03-6205-5602) plmet.event@gmail.com http://marinebiotechnology.jp/mbt2024/
第61回日本伝熱シンポジウム(兵庫県)	5月29~31日 (水~金)	公益社団法人日本伝熱学会	03-3259-7919 (03-5577-7939) office@htsj.or.jp https://htsj-conf.org/symp2024/index.html
第29回計算工学講演会(兵庫県)	6月10~12日 (月~水)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) conf.office@jsces.org https://www.jsces.org/koenkai/29/
第142回学術講演会—海底熱水鉱床研究開発の最前線—(福岡県)	6月14日(金)	一般社団法人環境資源工学会	03-6459-2203 (03-3403-1776) info@rpsj.org https://www.rpsj.org/g142/
第28回動力・エネルギー技術シンポジウム(京都府)	6月17~18日 (月~火)	日本機械学会 動力エネルギーシステム部門	03-4335-7615 (03-4335-7619) izawa@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/24-10/
第35回年次大会(東京都)	6月19~20日 (水~木)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp/
第61回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月3~5日 (水~金)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/
第34回環境工学総合シンポジウム2024(和歌山県)	7月17~19日 (水~金)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 kankyosympo2024@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/env/symp/sympo-info2024/index.shtml
The 5th Global Congress on Microwave Energy Applications 2024(5GCMEA 2024)(福岡県)	7月22~25日 (月~木)	特定非営利活動法人 日本電磁波エネルギー応用学会(JEMEA)	092-802-4805 (092-802-4805) tsubaki.shuntaro.318@m.kyushu-u.ac.jp https://www.5gcmea2024.jp/

2024年度工学教育研究講演会(福岡県)	9月4～6日 (水～金)	日本工学教育協会、九州工学教育協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) 2024_jsee_conference@jsee.or.jp https://www.jsee.or.jp/event/conference
地盤技術フォーラム2024(東京都)	9月18～20日 (水～金)	(株)産業経済新聞社	03-3273-6180 (03-3241-4999) r.nakamura@sankei.co.jp http://www.sgrte.jp/
SCIS & ISIS 2024(兵庫県)	11月9～13日 (土～水)	日本知能情報フレンジイ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) scis.isis2024@soft-cr.org https://soft-cr.org/scis/2024/
The Second Symposium on Carbon Ultimate Utilization Technologies for the Global Environment(CUUTE-2) (奈良県)	11月12～15日 (火～金)	一般社団法人日本鉄鋼協会	03-3669-5932 ryo@isij.or.jp https://cuute2.com/

化学工学会第89年会 概要

- 会 場：大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス
(〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号)
※口頭の一部シンポジウムはオンライン参加も可能です
- 会 期：2024年3月18日(月)～3月20日(水)
※シンポジウムSP-1は3月17日(日)実施です
- 懇親会 会 場：堺市産業振興センター
(〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町183-5)
- 懇親会 日 時：2024年3月19日(火)18:30～20:30(予定)
- 参加登録期間：第三期(含む当日) 2024年2月20日(火)～3月20日(水)12:00
- 大会WebサイトURL：<https://www4.scej.org/meeting/89a/>
※参加登録は上記Webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

化学工学会第89年会は、2024年3月18日(月)～20日(水)の3日間(シンポジウムSP-1は会期前日17日(日)実施)、大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス(南海高野線白鷺駅より徒歩約12分、Osaka Metro なかもず駅・南海高野線中百舌鳥駅よりバス約5分府立大学前下車徒歩約10分)にて開催されます。

本大会では、参加登録期間が3つあり、それぞれ参加費ならびに支払期限等が異なりますのでご注意ください。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日程で併催される国際会議 International Chemical Engineering Symposia 2024 (IChES 2024)へもご参加いただけます。

奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願いたします。

本大会の実施形態について

本大会ではオンライン開催を基本とし、X-51とHQ-21を除くシンポジウムと、IS-1(IChES 2024一般研究発表)のみライブ配信併用で実施します。オンライン参加はライブ配信対象セッションに限られます。IS-1を除く一般研究発表は全

て現地のみでの実施です。ご注意ください。

なお、ライブ配信対象講演については自動公衆送信とみなされますので、発表内容に他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。

なお、オンライン参加・オンサイト参加に係らず一切の録音・録画・撮影を禁じます。

懇親会

堺市産業振興センター(Osaka Metro なかもず駅・南海高野線中百舌鳥駅より徒歩約4分)にて、会期2日目3月19日(火)18:30～20:30に立食形式にて開催いたします。

奮ってご参加ください。

参加登録方法

大会Webサイトからお申込みください。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

第三期(含む当日) 2月20日(火)～3月20日

(水)12:00まで

開会式等

日時 3月18日(月)9:00～11:40

場所 Z会場

- ◇開会宣言
- ◇名誉会員推戴式
- ◇会長挨拶
- ◇学会表彰等授与式
- ◇学会賞受賞記念講演

企画紹介

詳細は、大会Webサイトをご覧ください。

学会賞等受賞記念講演

◇学会賞

Z105(3月18日(月)11:00～11:40)

【池田亀三郎記念賞】

高圧流体の物性・相平衡の推算に関する研究

(東北大学)猪股 宏氏

◇研究賞

H213(3月19日(火)13:00~13:20)

【實吉雅郎記念賞】

化学工学に立脚した新規医用材料の開発と新しい疾患治療法の開拓

(東京大学)伊藤大知氏

C221(3月19日(火)15:40~16:00)

【玉置明善記念賞】

素反応データベースによる超多成分複雑反応解析の有機資源熱化学転換プロセス開発への応用に関する研究

(名古屋大学)則永行庸氏

H214(3月19日(火)13:20~13:40)

【内藤雅喜記念賞】

ペプチドを基体とした機能性低分子ゲルの開発と新規生理活性の創出

(神戸大学)丸山達生氏

◇研究奨励賞

F217(3月19日(火)14:20~14:40)

【實吉雅郎記念賞】

自動化フローリアクターを活用した触媒反応解析

(九州大学)浅野周作氏

H215(3月19日(火)13:40~14:00)

【玉置明善記念賞】

有用物質生産のための微生物代謝改変技術に関する研究

(理化学研究所)藤原良介氏

◇技術賞

A212(3月19日(火)12:45~13:05)

機械学習を用いたアミノ酸発酵プロセスの計測・制御技術の開発

(味の素(株))楠瀬泰弘氏・寺脇貴弘氏・小林博貴氏・下平祥貴氏・徳山健斗氏

A213(3月19日(火)13:05~13:25)

高精度湿式分級装置“アイクラシファイア i Classifier”の開発と製品化

(佐竹マルチミクス(株))佐藤 誠氏・星野 徹氏・館下達太氏・大橋 明氏・(ケミマ・ラボ)院去 貢氏

◇技術奨励賞

A214(3月19日(火)13:25~13:45)

スケルフリーなソフトセンサーによる流動層造粒のプロセス監視

(第一三共(株))柳沼啓太氏

◇女性賞

C211(3月19日(火)12:10~12:35)

エンジニアリング企業での女性技術者の職務領域の拡大

(千代田化工建設(株))所田綾子氏

C212(3月19日(火)12:35~13:00)

機能性高分子を利用した化学工学の展開

(九州大学)三浦佳子氏

◇アジア国際賞

B113(3月18日(月)13:00~13:40)

Microporous Materials with Tailored Structural Properties for Enhanced Greenhouse Gas Separation

(Universiti Teknologi PETRONAS) Chuah Chong Yang 氏

C113(3月18日(月)13:00~13:40)

Design of heterostructure quantum dots for display and photochemistry

(Korea Advanced Institute of Science and Technology, KAIST) Doh Chang Lee 氏

C117(3月18日(月)14:20~15:00)

Designs of Conjugated Polymers and Hybrid

Perovskites for Optoelectronic Applications

(National Taiwan University) Chu-Chen Chueh 氏
C219(3月19日(火)15:00~15:40)

Functional Materials for Sustainable Catalysis

(Agency for Science, Technology and Research, A*STAR) Zhang Lili 氏

第13回 化学工学ビジョンシンポジウム
＜ライブ配信併用＞

日時 3月20日(水)午前

場所 T会場

詳細は大会ホームページでご確認ください。

特別シンポジウム

「2050年 カーボンニュートラルへの道」
(一般公開企画)
＜ライブ配信併用＞

日時 3月17日(日)13:00~17:10[会期前日]

場所 A会場

主催 (公社)化学工学会, 地域連携カーボンニュートラル推進委員会, 戦略推進センター・CCUS検討委員会

共催 戦略推進センター・SDGs検討委員会, (一社)触媒学会

協賛 住友化学(株), 東ソー(株), (株)トクヤマ, 日本ゼオン(株), 三井化学(株), (株)IHI, アサヒケオリティーアンドイノベーションズ(株), 東洋エンジニアリング(株)

後援 (一社)日本化学連合, (公社)日本工学会, (公社)日本工学会アカデミー

カーボンニュートラルの達成のためには、どんな社会にすべきかを検討・設計し、必要なプロセスを想定し、適切な要素技術を求めていく必要があります。化学工学会では地域産業および地域コミュニティとの連携強化により具体的なケーススタディ、カーボンニュートラルに必要な技術や学問体系的展開・深化の検討を進めております。

2020年3月以降、年会、秋季大会ごとに開催しております本シンポジウムですが、今回も、エネルギー・環境イノベーションとその社会実装について、会期前日の3月17日(日)午後、招待講演、依頼講演、パネルディスカッションを実施いたします。今回は、カーボンニュートラル推進における日本の位置付けを念頭において、地域の特徴に鑑みたグランドデザインの考え方について議論していきたいと思っております。

なお、会期中、各講演に対する双方向のコメントのやりとりも可能です。参加費無料の一般公開シンポジウムとなりますので、化学工学が挑む未来社会について多くの皆様と共に語り、この活動を通じて学会全体の分野融合研究の推進と学術の発展に貢献することを期待しています。

13:00~13:20

趣旨説明

主催者

A014(13:20~14:00)

[招待講演] カーボンニュートラル実現に向けた我が国におけるCO₂マネージメントのあり方
(株)三菱総合研究所) 圓井道也氏

A016(14:00~14:40)

[依頼講演] 農林業を強化するバイオマス資源の活用
(東京大学) 菊池康紀氏・兼松祐一郎氏・小原 聡氏

A019(15:00~15:40)

[招待講演] 廃棄物処理・資源循環分野からみた

カーボンニュートラルへのアプローチ

(早稲田大学)小野田弘士氏

15:40~17:00

パネル討論

ファシリテーター：(東北大学)福島康裕氏

パネリスト：ご講演者 および(信州大学)

古山通久氏

17:00~17:10

閉会挨拶

(地域連携CN推進委員長/東京大学)

辻 佳子氏

特別シンポジウム
「化学工学分野における
スタートアップの可能性」
＜ライブ配信併用＞

日時 3月19日(火)13:00~17:00

場所 T会場

持続的な経済成長の推進役として、スタートアップに掛かる期待は大きい。政府は2022年を「スタートアップ創出元年」と位置付け、年末までに5か年計画をまとめ、イノベーションの鍵となるスタートアップを5年で10倍に増やすと宣言しました。岸田総理は7月には、長野県軽井沢町で行われた経団連の会合で講演し、起業や新たな事業の立ち上げ、いわゆる「スタートアップ」への支援を強化するため、新たに「スタートアップ担当大臣」を任命する考えを表明しました。

このような中、IT技術を活用するテック系スタートアップだけでなく、社会の根深い課題を先端的な技術で解決するディープテックスタートアップに対する期待が高まっています。通常のスタートアップは数ヶ月の開発サイクルで数年での上市、5年程度でのIPOやM&Aでのエグジットを目指します。これに対してディープテックスタートアップは、製品上市まで長期間が必要となり、開発に必要な資本も一桁以上大きく、研究開発人材と経営人材のミスマッチ、研究開発人材と出資者とのディスコミュニケーション、など様々な課題に直面します。

ディープテックのシーズを持つアカデミアの人材の集まる場である化学工学会の立場から、スタートアップを創出し、社会を変えていく可能性について議論すべく本シンポジウムを企画いたしました。

13:00~13:20

企画趣旨および経緯とディープテックスタートアップをとりまく環境

(信州大学)古山通久氏

T214(13:20~13:50)

[招待講演] ディープテックスタートアップにおける海外展開と支援事例
(Plug and Play Japan(株))大久保迅太氏

T215(13:50~14:10)

[招待講演] Planet Savers社の立ち上げとDirect Air Captureへの挑戦
(Planet Savers(株))東京大学)伊與木健太氏

T216(14:10~14:30)

[招待講演] カーボン新素材による電池革新
(株)3DC)西原洋知氏

T219(15:00~15:20)

[招待講演] 技術シーズの産業化に向けて~大学発ベンチャーの立ち上げおよび企業内における研究事業化の支援に特化した取り組み~
(株)CoA Nexus)岡 弘樹氏

T220(15:20~15:40)

[招待講演] ヘロプスカイト太陽電池の社会実装への取り組み~エネコートテクノロジーズの挑戦~

(株)エネコートテクノロジーズ 鳥 正樹 氏
T221(15:40～16:00)
[招待講演] 放射冷却素材の開発とその社会実装
-大企業発スピンアウト型スタートアップと
いう挑戦-
(SPACECOOL(株))末光真大 氏
16:00～17:00
総合討論・ネットワーキング

特別シンポジウム
「SDGs達成に向けた札幌宣言の実行
-Efficiency+Sufficiencyへの取り組み-」
＜ライブ配信併用＞

日時 3月20日(水)13:00～17:00
場所 S会場
主催 戦略推進センター・SDGs検討委員会
共催 産学官連携センター・産業セッション委
員会、男女共同参画委員会

化学工学会は、2019年9月APCChE2019にお
いて「国連持続可能な開発目標(SDGs)に関する
宣言-人々の「健康、安心、幸福」のための化学
工学-」と題する札幌宣言を発表しました。
SDGsを共有ビジョンとし、化学工学者が、化学
工学と関連する技術の進歩を通して、人々のウェ
ルビーイングの推進へ貢献することを第一の目
的としています。

この札幌宣言の実現に向けて、これまでの秋
季大会や年会において「多様な分野の協働で実現
するサーキュラーエコノミー」「安全な水への化
学工学の貢献」、そして「多様な人材が活躍する
未来の化学工場」といった宣言に含まれる内容に
関連したテーマでシンポジウムを開催し、全員
参加型のグループ討議も行い、学会内外の方々
と議論を深めてきました。更に第88年会では、「あ
りた未来社会のための化学工学」との内容で、
SDGs検討委員会のメンバーで取り組んだ成果に
ついて報告し、産学官連携の議論を進めました。

今回の年会シンポジウムでは、Efficiency +
Sufficiencyの取り組みを進める研究者・専門家か
らのご講演と共に、SDGs検討委員会による
Efficiency + Sufficiencyの推進に向けて重ねてきた
議論の成果を報告し、札幌宣言の具現化に向け
た実際の取り組みを加速させるべく、議論を更
に深めていくことを目的とします。

13:00～13:05
開会挨拶

(東京大学)山本光夫 氏
S314(13:05～13:40)
[招待講演]SDGsやCN(カーボンニュートラル)
のアプローチに関する考察

(エネルギー総合工学研究所)国吉 浩 氏
S315(13:40～14:15)

[招待講演] 商船三井 環境への取り組み ～将
来世代へ繋ぐブルーカーボン～

(株)商船三井)香田和良 氏
S317(14:15～14:45)

[依頼講演] 札幌宣言の実現のために～ひとりひ
とりに求められることは～

(三井化学(株))花田汐理 氏

15:00～16:00

グループ討議

16:00～16:40

サマリー

16:40～17:00

ミキサー

国際シンポジウム
＜ライブ配信併用＞

◇Advanced Techniques of Gas Separation in
Asia
Date/Time Mar. 18(Mon)13:00～15:20
Room Hall B
Organization Division of Separation Engineering
Gas separation and utilization of carbon dioxide
and hydrogen has been critical. This symposium
includes the engineering of gas separation and
utilization by researchers in Asian region.

◇Recent Developments on Process Systems
Engineering
Date/Time Mar. 18(Mon)13:00～16:00
Room Hall C
Organization Division of Materials & Interfaces
This symposium focuses on material processing
technologies for controlling structures and
functions. We invite two distinguished professors,
Prof. Doh Chang Lee of Korea Advanced Institute
of Science and Technology and Prof. Chu-Chen
Chueh of National Taiwan University, who have
won 2023 The SCEJ Award for Outstanding Asian
Researcher and Engineer for the keynote talks of
this symposium. We also invite domestic and
foreign researchers working on the synthesis,
characterization, and application of colloidal
particles and the fabrication of various devices. We
hope this symposium will be fruitful and contribute
to the promotion of interdisciplinary research and
establishment of international networks between
researchers working in this field.

◇Organic/Inorganic Thin Film Processing for
Applications to Electronic and Energy
Devices
Date/Time Mar. 18(Mon)14:50～17:30, Mar.
19(Tue)9:00～11:40
Room Hall D
Organization Division of Supercritical Fluids
Supercritical fluid technology has recently become
more and more important for the sustainable
development of humankind, and the number of
practical applications of the technology is
increasing.. This symposium will focus on recent
research, development and advances in
supercritical fluid technology. Up-and-coming
researchers in the fields of supercritical fluids from
North America, Europe and Asia will attend the
session and explain the research and development
trends of supercritical fluid technology. The session
will also include presentations on the status of
research and development in each field.

化学産業技術フォーラム
＜ライブ配信併用＞

◇化学装置の高経年化と余寿命評価、および補
修による寿命延長
日時 3月19日(火)午前
場所 B会場
日本の化学プラントは高経年化が進んでお
り、その装置をいかに寿命延長しながらも安全
に操業していくかが鍵となっています。化学装
置材料部会で議論してきた材料の余寿命評価
と、補修材を利用した寿命延長に関わる話題を
中心に、化学装置の高経年化における問題とそ
の寿命延長に関するシンポジウムを行います。

産業セッション
＜ライブ配信併用＞

日時 3月19日(火)、20日(水)
◆口頭セッション

◇世界に羽ばたく日本発技術イノベーション
日時 3月19日(火)9:00～12:00
場所 A会場

世界的な人口増加や気候変動、国際情勢不安
のリスクの中、持続可能な社会の実現には化学
産業の更なる躍進が期待されます。将来の産業
を担うイノベティブな新製品や生産技術開
発、それらを実現するための新たな取り組みの
必要性が増しています。本セッションでは、基
盤技術から社会実装、更には海外展開も視野に
入れた日本発の技術開発や企業間連携の事例を
口頭発表で紹介いたします。

◇カーボンニュートラルを目指す化学産業の挑
戦-未来社会を支える資源循環技術-

日時 3月19日(火)13:45～17:30
場所 A会場

世界全体でサーキュラーエコノミーへの転換
が推進されています。石油等の地下資源ではな
く、バイオマスや使用済み製品から資源を回収・
変換する技術が望まれています。本セッション
では、資源循環に必要な技術の開発、実証、事
業化の事例を紹介いたします。

◇「化学関連産業の経営課題」2030～50年の化
学関連産業を考える ～歴史的転換点に直面す
る混迷の時代の企業経営～

日時 3月19日(火)午後
場所 B会場

気候変動、パンデミック、ウクライナ戦争な
ど予期せぬ事態の発生、資本主義経済や民主
主義社会そのものが問われる今日、国際競争力
の低下に対する危機感が我が国では欠如してい
るのではないのでしょうか。

また少子・高齢化、女性の社会進出、技術開
発力の低下など日本独自の課題を抱えています。

この現状を再確認し、将来ビジョンを画き
経営転換を図られている先進企業事例も参考
にし、日本企業の中長期的なビジョンについて議
論します。

◇グリーントランスフォーメーション(GX)を目
指す化学産業の挑戦

日時 3月20日(水)9:00～12:00
場所 A会場

政府の「経済財政運営と改革の基本方針2023」
には、グリーン・トランスフォーメーション
(GX)を加速することで日本経済の産業競争力強
化・経済成長を目指す先進企業事例も参考に
します。

本セッションでは、NEDOのグリーンイノベー
ション(GI)基金事業としてGXに取り組んでい
る企業から、技術開発の進捗や技術全般の社会
動向を幅広く紹介いたします。

◇高付加価値を生む次世代モノづくり現場への
変革

日時 3月20日(水)9:55～16:20
場所 B会場

近年、インターネットの普及によりデジタル
社会が実現し、AIやIoT、ビッグデータを活用
するDX(デジタルトランスフォーメーション)は
新たな市場創出や的確にニーズをとらえたマー
ケティングを可能にし、企業間の収益力に差が
出てきています。

本セッションでは、従来レベルでの現場力の
維持・向上のみならず、「高付加価値を生む次世
代のモノづくり現場への変革」について焦点を当
て、女性活躍やロボット活用も含めそれらの変
革事例について講演して頂きます。学産業が生

産性を高め、活力に溢れ持続可能な社会を実現するためには、DX、AI、IoT、ビッグデータの活用が喫緊の課題となっています。研究開発の現場を含め、生産活動の現場で地道にデータを集め、IT、AI、IoT技術を駆使してそれらを解析し、新製品開発や生産性の向上、改善に結び付ける取り組みについて、本セッションでは口頭発表ならびにポスター発表で先端企業のDX活用事例を紹介します。

男女共同参画委員会企画
「ダイバーシティフォーラム」
(一般公開企画)
＜ライブ配信併用＞

日時 3月19日(火)12:10～13:00
場所 C会場

化学工学関連分野で優れた技術や研究業績をあげた女性に贈る女性賞の受賞講演を行います。

戦略推進センター
CCUS検討委員会企画
「CCUS検討委員会シンポジウム」
＜ライブ配信併用＞

日時 3月20日(水)9:00～12:00
場所 C会場

CO₂分離回収貯留技術CCUSは国内でも近年開発が加速していますが、海外では更に実証に向けたフェーズに移行しています。

この度のCCUS検討委員会シンポジウムでは海外のCCUS事例やそれを後押しするカーボン・クレジット制度に関して専門の先生に講演いただき、更にCCUS実証に取り組む海外機関を視察した研究者に報告いただき、CCUS技術の社会実装に向けた国内外の課題に関して共有します。

「若手研究者が考える未来の化学工学研究」
＜現地のみ＞

日時 3月20日(水)13:00～16:00
場所 Q会場

全国で活躍する若手の研究者と技術者にお集まりいただき、ポスター形式のリラックスした雰囲気での研究・技術紹介や意見交換を行います。化学工学に関する最新研究から現場での応用に関して幅広い話題を提供します。未来の化学工学研究を、次世代を担う若手が活力に溢れた発想に基づいて発信していきます。更に、若手の技術者・研究者同士のコネクションづくりにも役立つ場を提供します。

熱工学部会、エネルギー部会企画
「熱エネルギー技術の統合による
CO₂削減への挑戦」
＜現地のみ＞

日時 3月18日(月)13:00～16:00
場所 E会場

CO₂排出量削減の問題からエネルギー創出、利用における様々な研究開発が活発に行われています。エネルギー形態の1つである熱エネルギーは産業、民生において必要不可欠であるものの、貯蔵や輸送が非常に困難であり、低温の熱については利用されることなく捨てられています。このような状況においては熱効率の向上だけではなく、未利用の熱を無駄なく利用する手法やプロセス、またマネージメント技術を開発することもCO₂排出削減において重要となっ

ています。そこで本シンポジウムでは、サーマルサーキットなどの熱利用プロセスや熱マネージメント技術、高効率熱利用に関するシンポジウムを開催し、熱利用に関する積極的な討論を行います。

「粒子・流体プロセス部会 部会セミナー」
＜ライブ配信併用＞

日時 3月18日(月)13:00～16:40

場所 A会場

粒子・流体プロセス部会の各賞の表彰式および受賞講演です。

「これからの基礎物性」
＜ライブ配信併用＞

日時 3月19日(火)12:55～17:20

場所 D会場

現在、我々は、グローバル経済における我が国の漸減的な地位の低下、急激な少子化に伴う社会構造の変化、また社会の成熟化に伴う産業構造の変動に直面しています。基礎物性部会においても、物性を研究する研究室や若手研究者の数の減少という構造的な問題に見舞われています。基礎物性研究に対して、(1)社会構造や産業構造の変化に伴う基礎物性研究へのモチベーションの変化、(2)我が国における基礎物性研究の現状と世界的な潮流について、パネルディスカッションを実施し、今後の基礎物性研究開発と基礎物性部会の更なる活性化について、建設的な議論を行いたい。併せて、最新トピックスについての招待・依頼講演を実施します。

参加登録に関する注意事項

◇大会会場(大阪公立大学) ご来場予定の調査について

準備の都合上、参加登録時点における、大会会場(大阪公立大学) ご来場予定をお尋ねします。見通しで結構ですので、ご協力をお願いします。その後予定が変更になった場合もご連絡は不要です。

◇参加登録期間 第一期、第二期、第三期(含む当日)の違いと注意点

第一期、第二期は2月19日で終了しております。第三期(含む当日)は2月20日～3月20日(水)までWebにてお申込みいただけます。

なお、第三期参加登録の場合は講演プログラム集冊子の申込みができません。また講演要旨集(お申込みいただいた方のみ)のお届けが会期後となります。

第一期、第二期、第三期を跨いだお申込み、お支払はできませんので、ご注意ください。(例:第一期で大会参加のみ登録、第二期で講演要旨集を追加登録、はできません。また、第一期や第二期でお申込みいただいたものの、支払期限日までにお支払いただけなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第三期に改めてお申込み、お支払いください。)

大会会場での参加登録は実施いたしません。第三期の参加登録(オンラインのみ)は会期最終日12:00まで受け付けておりますので、そちらをご利用ください。

◇ご登壇者の参加登録について

ご登壇者(ご招待者を除く)も参加登録が必要です。会期1週間前までに参加登録を済ませますようお願いいたします。なお、名誉会員および依頼講演者の皆様へは別途実行委員会より

ご案内いたしますので、そちらに従ってお手続きをお願いいたします。

◇参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払い状況を確認いたします。当該Webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご準備ください。参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申込みはできません。年会費をお支払いいただいてからWeb上で確認できるまで2週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、化学工学会本部(<https://www.scej.org/>)をお願いいたします。

◇本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格で参加登録される方は、本会2024年度(2024年3月～2025年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録のキャンセル(返金)について

第三期参加登録は一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了解ください。

なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録Webサイトより実施していただけますが、参加者名と参加登録資格の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルしていただき、改めてお申込みいただくことになります。この場合、改めて申込まれた期の料金が適用されますので、ご注意ください。

◇懇親会参加について

定員に達した場合は早期に締め切る可能性がありますので、参加ご希望の方は早期にお申込みください。また、懇親会のみへの参加であっても大会参加登録が必要となります。ご了解ください。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子のお申し込みは第二期で締め切っております。講演プログラム集冊子のPDF版を無料公開予定ですので、そちらをご利用ください。

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売いたします(大会参加者:3,300円/個)。大会参加費には含まれておりませんので、ご注意ください。参加登録時にお申込みいただければ、郵送いたします。ただし、第三期に参加登録をされた方には、大会終了後の発送となります。

なお、講演要旨集のディスクイメージファイルは、講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわらず本大会に参加登録された方皆さん(公開企画のみ参加者(無料)を除く)、大会終了から3ヶ月後にWebからダウンロード(無料)いただけます。

大会に参加登録されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円/個(税込・送料込)、本会非会員は23,100円/個(税込・送料込)で販売しております。お申込みは随時大会Webより承りますが、現物の発送は大会終了後になります。

◇その他詳細について

大会Webサイトをご確認ください。

参加費

大会参加費には、講演プログラム集冊子(別売;受付終了済)や講演要旨集(USBメモリ;別売)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	第三期 (2/20~当日)	備考
化学工学会個人会員の方		
正会員	15,000円	不課税
シニア会員	8,000円	
永年会員	7,000円	
教育会員	7,000円	
学生会員	7,000円	
ジュニア会員	7,000円	
海外正会員	15,000円	
海外連携会員	15,000円	
海外学生会員	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等		
法人会員(*1)に属する社員	18,000円	不課税
懇話会会員	18,000円	
部会個人賛助会員	18,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	18,000円	
(*1)維持会員, 特別会員, 特別地区会員		
他学会の個人会員の方等		
共催学会の個人会員	18,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	15,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	7,000円	
(*2)AICHe: 米国化学工学会, CIESC: 中国化学工学会, DECHEMA: ドイツ化学工学バイオ学会, IICHe: インド化学工学会, KICHe: 韓国化学工学会, TwICHe: 台湾化学工程學會(略称アルファベット順)		
上記以外の方		
会員外	33,000円	課税税込

懇親会費

会員資格	第三期 (2/20~当日)	備考
本会個人会員(正会員・教育会員・海外正会員・海外連携会員)	8,000円	課税税込
本会個人会員(永年会員・シニア会員・学生会員・ジュニア会員・海外学生会員)	6,000円	
本会法人会員に属する方, 懇話会会員, 部会個人・法人賛助会員	8,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生以外)	8,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	6,000円	
上記いずれにも該当しない方	8,000円	
(*2)AICHe: 米国化学工学会, CIESC: 中国化学工学会, DECHEMA: ドイツ化学工学バイオ学会, KICHe: 韓国化学工学会, TwICHe: 台湾化学工程學會(略称アルファベット順)		

*定員に余裕がある場合は当日現地での受付を行う可能性がありますが、その場合の価格は10,000円(税込)均一・現金のみとする予定です。

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	参加登録時同時購入	大会終了後別途購入
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	3,300円/個 (税込・送料込)	12,100円/個(税込・送料込)
本会非会員		23,100円/個(税込・送料込)

問合せ先

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ
 京王観光(株) 東京第1支店
 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
 化学工学会 運営サポートチーム
 TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740
 E-mail: scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
 営業時間 平日10:00~17:00

◇その他に関するお問合せ
 化学工学会 第89年会 実行委員会
 E-mail: inquiry-89a@www4.scej.org

部 会 C T

「プロセス産業における サイバーセキュリティ： リスクに基づくアプローチ」 発刊記念講演会

主催 化学工学会 安全部会
 後援 丸善出版(株)
 協賛 安全工学会

サイバー攻撃によるプラント操業停止やプロセス事故を未然に防ぐことが今ほど求められている時はない。時機よく出版された本書は、米国化学プロセス安全センター(CCPS)が、2022年にCCPS Concept Bookとして出版した“Managing Cybersecurity in the Process Industries A Risk-based Approach”を完訳したものである。

本書発刊の目的は、プロセス産業におけるサイバーセキュリティマネジメントのためのリスクに基づくアプローチを紹介し、組織が既存のプロセス安全管理システム(PSM)と連携した、より効果的なサイバーセキュリティ・マネジメント・システム・プログラムを設計、実施することを支援することである。

PSMと違う点はサイバー攻撃によるリスクが攻撃者の力量アップや既設防護設備の陳腐化などで増えてくることで、それはサイバーセキュリティの脆弱度が動くことを意味する。一度脆弱度を強化しても、新種の手口が侵入してくる。

本書が台頭しているサイバー攻撃に対応できるPSMと融合したマネジメントシステムを実現するための一助となり産業界全体の事故防止に貢献することを願う。

日時 2024年3月7日(木) (13:30～17:00)

プログラム

- 1) 発刊に寄せて 5分
名古屋工業大学 名誉教授 橋本芳宏氏
- 2) 書籍の全体の構成等 10分
名古屋工業大学 准教授、
サイバーセキュリティセンター
セキュリティ管理部門長 濱口孝司氏
- 3) サイバーインシデント事例研究 40分
南川行動特性研究所 南川忠男氏
- 休憩 - (5分)
- 4) 制御システムに対するリスクに基づくサイバーセキュリティ・マネジメント- 例題を用いたリスクアセスメント手法の解説 - 50分
名古屋工業大学 准教授、
サイバーセキュリティセンター
セキュリティ管理部門長 濱口孝司氏
- 質疑応答及び休憩 - (15分)
- 5) RBPS対応のサイバーセキュリティの管理 40分
工学院大学 名誉教授 木村雄二氏
- 6) 総合質疑
募集人員 100名
申込締切 2月27日 17:00
参加費 26,400円(税込み) 参加費に新刊1冊(定価税込み13,200円)込み
(1月に丸善出版から発刊されるサイバーセ

キュリティの書籍1冊の代金含む)
 書籍不要で受講のみのご参加はできませんのでよろしく申し上げます。

- ・ 2冊以上ご希望の方には3月1日までのご注文であれば著者割引20%の税込み13,200円/冊とさせていただきます。それ以降はいつでも15%引きとなります。
- ・ 同一事業所から3名以上お申込みの場合、お申込み者1名のPCを会議室でプロジェクターに接続するなどして大勢で視聴できます。お申込み代表者は備考欄にその旨記入してください。
- ・ 3名は同じ日にお申込みをよろしく申し上げます。
- ・ 書籍はお申込み人数分を代表者にまとめてお送りします。3名の場合税込み79,200円となります。代表者に請求書を3名合計の請求書を送付致します。
- ・ 同一会社から5名以上お申込み(先の3名の事業所に本社2名などで合計5名など)の場合、発刊記念講演会後、2時間以内のコンサルを無料で受けることができます。この場合のコンサル会の定員は15名です。お申込み代表者は備考欄にその旨記入してください。
- ・ お申込み備考欄にその旨記入してください。
- ・ 5名は同じ日にお申込みをよろしく申し上げます。
- ・ 事前振込制。返金はございませんが代理参加OKです。
- ・ 発表順番は主催者の都合で変更になることもありますことをご了承ください。

申込方法 安全部会HPの申込みサイト

<https://scejzenzen.org/main/events/>

※お問い合わせは電子メールのみです。

お問い合わせ先 安全部会事務局(下記URLからメールフォームによりご送信ください)

<https://scejzenzen.org/main/contact/>

Teams ご案内

開催日の前週の木曜日の午前中に主催者より開催のTeamsを送付します。
 もし届かなかった場合は上記お問い合わせよりお知らせください。

Recordingしますが、アーカイブ配信は致しません。

予稿集の送付

発刊された書籍の内容の発表や解説となります。

発表用に作成されたパワーポイントのPDFファイルを開催日の前週の木曜日の午前中に主催者よりクラウドストレージBOXに格納して配布します。

コンサルのご案内

同一会社から5名以上お申込みの場合：発刊記念講演会後、2時間以内のコンサルを無料で受けることができます。この場合のコンサル会の定員は15名です。

上記条件でない場合は企業側は下記有料で15名までの参加ができます。

参加費：1時間33,000円(税込み)

企業特設講座のご案内

企業特設講座として今回の発刊記念講演会と同じ内容で2名の発表(企業側が指名する)について、合計2時間、今回の講演会の講師がご説明し、意見交換することができます。

企業側は15名までの参加ができます。

参加費：1時間66,000円(税込み)

申込方法 化学工学会安全部会のHPのお問い合わせ、または scej-minamigawa@ozzio.jp に直接お申込み。

リスクベースサイバーセキュリティマネジメント講習会の計画

本書10章及び付録Bで紹介されているサイバーセキュリティのリスクアセスメント手法が修得でき、サイバーセキュリティのマネジメントシステム向上のための講習会が開催できるようにワーキンググループを発足してテキストが完成次第講習会を開催します。

第26回反好会 (反応工学部会若手会)講演会

主催 化学工学会反応工学部会・反好会

第26回反好会講演会を化学工学会第89年会の前日に開催致します(大阪公立大学中百舌鳥キャンパス・オンライン聴講可)。各回、多くの皆様からご好評いただいています。年会への参加如何にかかわらず参加いただけます。ぜひお気軽にお越しください。化学工学系の大学生、高専生含め、多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 2024年3月17日(日) 15:00～17:40

場所 大阪公立大学中百舌鳥キャンパス

オンライン(Zoom)での聴講も可能とします。

講演者 東京工業大学 大友順一郎氏、大阪公立大学 興津健二氏、東京工業大学 菅原勇貴氏

参加資格 反応工学にご興味をお持ちの全ての方。学部生・高専生の参加も歓迎いたします。

参加費 無料

申込方法 「反好会HP」よりお申し込みください。

<http://www2.scej.org/cre/wakate/>

申込締切 3月10日(日)

注意事項

★全ての発表の録画、録音および配布資料の無断での転載、複写、第三者への提供を禁止致します。

★講演会終了後、懇親会を開催予定です。

★反好会HPから講演内容詳細などの最新情報をご覧ください。

問い合わせ先 反好会代表幹事 百瀬健(熊本大学)

E-mail: momose@cs.kumamoto-u.ac.jp

地 域 C T



関 東 支 部

バイオプロセス講演会
「生物機能を利用したモノづくり」
に貢献するプロセス強化

主催 (公社)化学工学会関東支部, (公社)化学工学会バイオ部会

協賛 (公社)日本生物工学会, 日本動物細胞工学会

生物資源とバイオ技術を利用した素材・化学製品製造技術の進展は目覚ましく、地球規模の課題と経済発展の共存を目指す「バイオエコノミー」に注目が集まっています。本講演会では、化学工学会誌「生物機能を利用したモノづくり」に貢献するプロセス強化特集(2022年4月号)に関するご講演をいただきます。

はじめに、「バイオエコノミー」に関する国家レベルの取り組み、バイオによるモノづくりの課題について概説いただきます。その後、生物機能によるモノづくりに寄与する各種プロセスに関して最新の話題をご紹介します。

日時 2024年3月15日(金)13:00~18:05

開催方法 Zoomによるオンライン

プログラム

総司会: 荻野千秋(神戸大学)

- はじめに ~本講演会の開催趣旨~ (13:00~13:15)
(神戸大学) 荻野千秋氏
- 「バイオエコノミー」総論(13:15~13:55)
~バイオにおけるものづくりの課題とバイオエコノミーの展望~
(千葉大学) 関 実氏
- 細胞育種技術 自動化による微生物育種の高速化(13:55~14:35)
(神戸大学) 蓮沼誠久氏
- 計算機工学を基盤とするバイオテクノロジーの高度化(14:35~15:15)
(大阪大学) 清水 浩氏
(休憩10分)
- 培養における自動化・機械化・DXの活用(微生物)(15:25~16:05)
(大阪工業大学) 長森英二氏
- ヒト幹細胞製造に資する技術(16:05~16:45)
(大阪大学) 紀ノ岡正博氏
- 培養に貢献する気泡計測・制御技術(16:45~17:25)
(広島大学) 中島田 豊氏
- 培養に貢献する攪拌技術(17:25~18:05)
(千葉工業大学) 仁志和彦氏
- 閉会の挨拶(18:05~18:10)
(筑波大学) 市川創作

募集人数 100名

参加費 化学工学会・協賛団体 正会員 7,000円, バイオ部会正会員 7,000円, バイオ部会賛助会員 9,000円, 化学工学会・協賛団体 法人会員の社員の方 9,000円, 化学工学会・協賛団体 学生会員 2,000円, 会員外 13,000円, 会

員外学生 8,000円

支払方法 受付後お送りする請求書にて事前にお振込みください。当日になってからのキャンセルの場合には、参加費をご請求させていただきます。

申込方法

・WEB申込み

関東支部HP (<http://www.scej-kt.org>) の次回行事開催のご案内の「バイオプロセス講演会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウインドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

・E-mailによる申込み

下記関東支部事務局宛、「バイオプロセス講演会参加申込」と明記し、参加者氏名、勤務先名、所属部署名、郵便番号、住所、電話、FAX番号、E-mailアドレス、会員資格をご記入の上お送りください。

申込先 (公社)化学工学会関東支部

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立

会館内

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

E-mail: info@scej-kt.org

九 州 支 部

第61回化学関連支部合同九州大会

主催・共催 高分子学会九州支部ほか7化学関連支部

日時 2024年6月29日(土)9:00~17:00(予定)

会場 北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野3-9-30)

(交通)JR小倉駅より徒歩5分

発表申込期間 3月1日(金)~4月12日(金)

予稿原稿締切 5月10日(金)

発表形式 一般・学生発表はポスター発表のみ。

ほか依頼講演(8件, 各支部推薦)

発表申込方法 大会HP (<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) から、指示に従って、以下の

申込必要事項をお送り下さい。お申込み後に、受理通知のメールをお送りします。通知が無い場合は、本合同大会事務局 (godo61sec@gmail.com) にお問い合わせ下さい。

申込必要事項 1) 発表分野, 2) 発表題目, 3) 発表者所属機関の略称, 4) 発表者氏名(登壇者の前に✓印), 5) 学生の場合は、研究室名、指導教員の氏名とE-mailアドレスも記入, 6) 発表者の所属学協会(申込中を含む、複数可), 7) 発表者の学年・職

なお、発表分野は下記のいずれかをご指定下さい。

(1)物理化学, (2)分析化学, (3)無機化学, (4)電気化学, (5)有機化学, (6)高分子・繊維化学, (7)生物化学・農芸化学, (8)化学工学
予稿原稿(約800字図表を含む)の執筆要項およびプログラムは、大会HP (<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) で公開します。執筆

要項に従って作成し、PDFファイルに変換したものを大会HPに記載の方法で投稿して下さい。

注1: 大学院進学などでメールアドレス変更の場合は、大会HPマイメニューより、ご変更下さい。

注2: 例年、多くの修士1年生にご発表いただきますが、申込内容等の不備(連絡先間違いや単著での申込)が多くあります。指導教員の先生にも申込内容が自動送信されますので、ご指導のほど、お願い申し上げます。

参加費・発表登録費 聴講のみの参加費は無料。発表登録費は、ポスター発表1件につき3,000円(予稿集1冊含む。当日受付にて、お支払い下さい)。聴講のみの参加者で予稿集をご希望の方は受付にてお求め下さい(1冊:1,500円)。

授賞式 各支部によるポスター賞審査終了後、各支部毎に開催します。なお、懇親会の開催予定はありません。

問合先 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744 第61回化学関連支部合同九州大会実行委員会事務局(実行委員長: 門川淳一(鹿児島大学), 代表世話人: 春藤淳臣(九州大学))

E-mail: godo61sec@gmail.com

TEL: 092-802-2880

なお新型コロナウイルスの感染状況により、プログラムを変更する場合があります。更に、オンラインにて開催する場合があります。

依頼講演[順不同]

依頼講演 高分子学会九州支部推薦

「両親水性ブロック共重合体のマイクロ相分離による水相分画」
檜垣勇次(大分大学)

依頼講演 日本分析化学会九州支部推薦

「医療・創薬に活かすナノマイクロツール開発」
中島雄太(熊本大学)

依頼講演 電気化学会九州支部推薦

「固液界面における分子集合とその電気化学的な制御」
吉本惣一郎(熊本大学)

依頼講演 有機合成化学協会九州山口支部推薦

「キラル二官能性有機カルコゲン触媒の開発に至る経緯と展開」
白川誠司(長崎大学)

依頼講演 日本化学会九州支部推薦

「微細かつ複雑形状を有する機能性透明シリカガラスの開発 - 次世代を担う3D光造形技術の役割と未来像 -」
藤野 茂(九州大学)

依頼講演 化学工学会九州支部推薦

「CO₂電解による高選択エチレン生成へ向けた電極反応場設計」
田巻孝敬(鹿児島大学)

依頼講演 日本農芸化学会西日本支部推薦

「CRISPR-Cas系の生物学」
沼田倫征(九州大学)

依頼講演 繊維学会西部支部推薦

「超分子ナノファイバーを利用した機能基のキラ配向組織化と機能発現」
桑原 穰(熊本大学)